

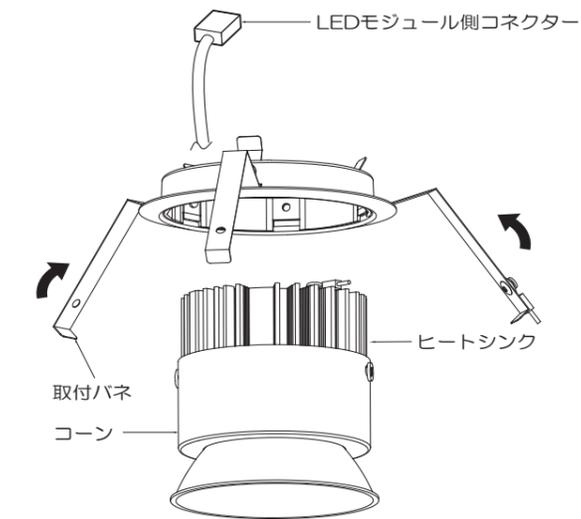
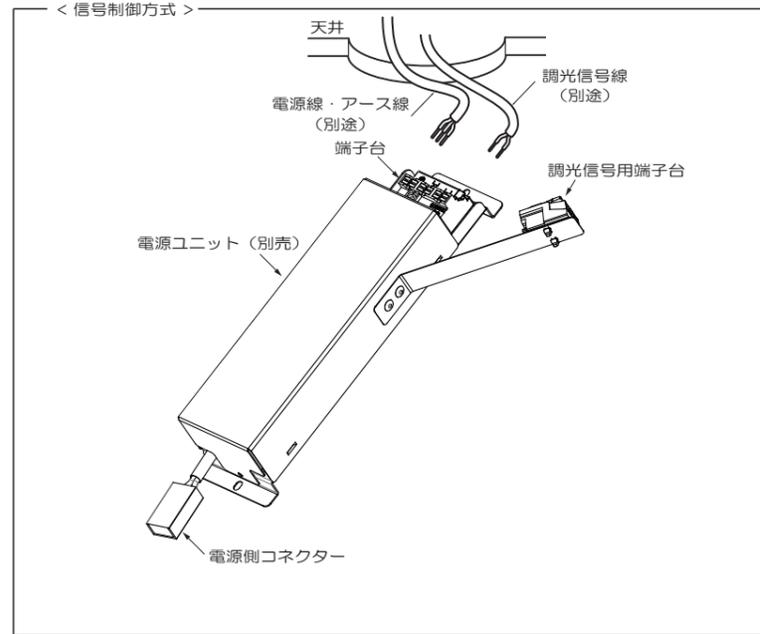
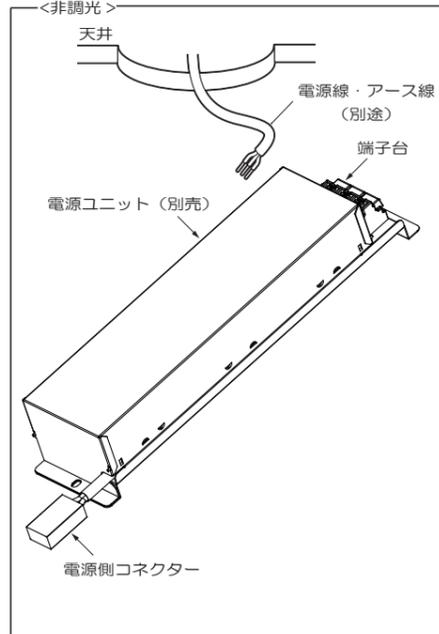
[品名] DLCWG-1E, DLWWG-1E

## 取扱説明書

保管用

### ◆各部の名称

この図は一部省略抽象した共通部品図です



区分	電源型番	調光方式	入力電圧	入力電流	消費電力	周波数
600タイプ	DP571-01	非調光	100V	150mA	7.3W	50Hz/ 60Hz
			200V	75mA	7.3W	
			242V	62mA	7.3W	
	DP5142-01	PWM	100V	79mA	7.8W	
			200V	45mA	8.0W	
			242V	40mA	8.1W	

DLCWG-1E		
ランプ色	配光	近接照射 限度
(3500K)	広角	0.2m

DLWWG-1E		
ランプ色	配光	近接照射 限度
(4000K)	広角	0.2m

▲ 3年以上お使いいただいた器具は、安全のため器具・コードなど1年ごとに点検をし、異常があれば交換してください。

■清掃方法について ▲注意 必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

- 中性洗剤をつけ、よく絞ってから拭きとり、乾いた布で仕上げてください。
- シンナーやベンジンなど揮発性のものでも拭いたり、殺虫剤をかけたたりしないでください。

●電源工が必要な場合は、電気工事店に依頼してください。

### ◆LED光源について

・LED素子は白熱灯・蛍光灯などの一般光源に比べバツキがあるため発光色、明るさが異なる場合がありますのでご了承ください。

### ◆信号制御方式の調光器具について

・調光した状態で、電源スイッチを切り切った場合、一旦明るく光った後に調光状態や消灯状態に移行する場合があります。

### ◆適合信号制御器(別売)の接続台数

品名	タイプ	定格電圧	接続台数	調光範囲
DMOWP	600タイプ	AC100V	50台(50台)	5%~100% 連続調光

※( )内は、信号供給のみの接続台数です。

### ◆取付方法

1. 安全確保の為、電源ブレーカー及び、電源スイッチを遮断してください。

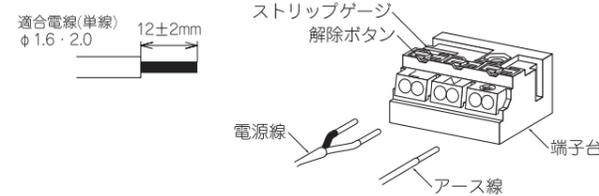
▲ 感電の原因となります。

2. この器具は天井取付専用器具です。器具重量に十分耐えるよう、天井取付部の強度を確保し、指定の埋込穴をあけてください。(取付有効板厚3mm~25mm)  
電源ユニットを埋込穴から挿入する場合は、天井内懐深さが必要です。

埋込穴寸法
φ100±1

▲ 取付部の強度が不十分な場合、上記埋込穴寸法より大きい場合は、器具落下・光モレの原因となります。

3. 電源線を端子台に接続してください。  
●電線はストリップゲージ長12±2mmにむいてください。  
●電線を奥までまっすぐ確実に差し込んでください。  
●送り容量15A以下。  
●D種接地工事を行ってください。必ず端子台のアースを使用してください。



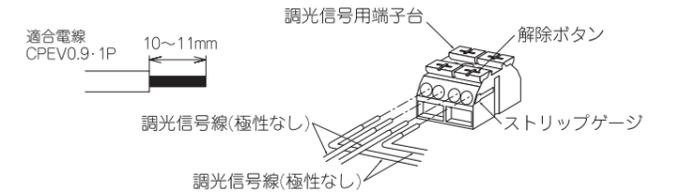
▲ 電源線は解除ボタンを押さずに引き抜かないでください。接点金具が変形し、焼損、漏電、感電、不点灯の原因となります。

▲ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。

▲ 電気設備技術基準で定められたD種接地工事を必ず行ってください。火災・感電の原因となります。

3-1. 信号制御方式の場合、調光信号線を電源ユニットの調光信号用端子台に接続してください。

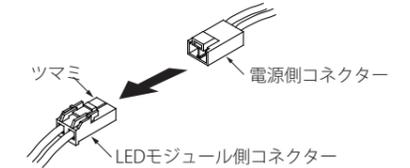
- 調光信号線はストリップゲージ長10~11mmにむいてください。
- 解除ボタンを押したまま、調光信号線を奥までまっすぐ確実に差し込んでください。解除ボタンを元の位置に戻し、調光信号線が抜けないことを確認してください。
- 使用する信号制御器の最大接続数以下で接続してください。



- 信号制御器は当社指定の商品をご使用ください。
- 信号制御器に付属の取扱説明書をご参照ください。

▲ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。

4. LEDモジュール側コネクタに電源側コネクタを確実に差し込み接続してください。



▲ 接続不完全な場合、火災・漏電の原因となります。

5. 電源ユニットを埋込穴より挿入し、天井内で横転などないように設置してください。

▲ 電源ユニットが器具に触れないように設置してください。火災の原因となります。

6. 本体を埋込穴に押し込んでください。  
●取付バネ(3ヶ所)を矢印方向へ締め、本体を埋込穴へ押し込んでください。(各部の名称図参照)

▲ 取付けが不十分な場合、器具落下の原因となります。